

岩木川氾濫時の対応を確認 「避難を促す緊急行動」を実施

国土交通省青森河川国道事務所では、今年9月の関東・東北豪雨による茨城県常総市での鬼怒川堤防の決壊を受け、岩木川および馬淵川堤防沿いの市町村の地域住民を対象とした「避難を促す緊急行動」と、東北では初となる自治体の首長へのトップセミナー（個別訪問）を行いました。10月30日（金）、同事務所の石塚宗司所長らが当町を訪れ、岩木川が氾濫した場合の情報提供やその対応について相川町長ら関係者と確認しました。

緊急行動には、町の水防団や行政推進員らが参加。役場裏の堤防において現場確認をしたほか、大性地区と木筒地区沿いの堤防の合同点検が行われました。石塚所長は「住民の皆さんに堤防決壊の情報が行き渡っていない」「どのくらい前に何をしなければならないか検討したり、タイムラインを作るなどして万全の体制をとらなければならない」などと説明。相川町長は「災害はいつ起こるかわからない。地域住民の命を守るため、迅速な対応をとらなければならない決意を新たにしたい」と述べました。



役場裏の堤防で現場確認



堤防決壊のメカニズムなどを説明する石塚所長（左）

Pick up

受賞の喜びを報告 町老人クラブ連合会に全国表彰

鶴田町老人クラブ連合会（乗田勝雄会長）が全国老人クラブ連合会から「優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰」を受賞し、11月20日（金）、相川町長より表彰状が伝達されました。相川町長は「受賞を励みに、今後も活発に活動してほしい」と祝福。乗田会長は「全国表彰を受けることは大変嬉しい。今後も会の活動を発展させていきたい」と抱負を述べていました。



△相川町長に受賞の喜びを報告した同連合会の皆さん

つるりんが「国民文化祭かごしま2015」に参加しました

10月31日（土）～11月15日（日）まで鹿児島県で、全国各地の文化活動を発表する国内最大の文化の祭典「国民文化祭」が開催されました。

11月8日（日）には、当町と友好交流協定を結ぶさつま町で「ゆるキャラ&大鍋フェスタ」が開催され、当町のマスコットキャラクター「つるりん」が、さつま町の「さつまくん」をはじめ、全国のご当地マスコットキャラクターと一緒にステージ上で町をPRしました。また、大鍋フェスタでは、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」がけの汁の販売を行ったほか、会場特設ステージでは、当町の長峰健一さんが青森県代表として津軽三味線の演奏を披露しました。



△会場ステージでは、全国のゆるキャラたちがダンスを披露